



幼児教育短期研修(充実ステージ)



7/4(金)の研修では、琉球大学の宮城利佳子先生を招いての講話、グループ協議を対面と zoom で行いました。宮城先生からは、『対話が拓く新たな視点』をテーマに、保育者同士の学び合いと園内研修の取り組み方についてお話ししていただきました。その中でも日々多忙な保育活動の中で、若手やベテランの垣根を越えて、雑談(ささいなことでも語り合う)をし、互いを分かり合うことが大切だということでした。グループ協議では、時間ギリギリまで活発に話し合いが進み、研修終了後も、宮城先生への質問や参加者同士での意見交換が行われていました。



〈先生方の事後アンケートより〉

- 日々の何気ない保育カンファレンスも研修ということが分かりました。
- 『園内研修の対話により生まれる相手へのリスペクト』というワードがとても印象的でした。
- 子どもがワクワクする保育をするために、教師間でワクワクすることの大切さを学びました。



小中自主参加講座

テーマ「子ども一人一人を主語にした授業」



7/23(水)、豊見城小学校にて、嘉手納町教育委員会主幹の大城智紀先生をお迎えし、ICTの効果的な活用と生成AI活用体験研修が開催されました。ICT活用の授業には情報活用能力の向上が必須ですが、その土台になるのは、先生方がこれまでやってきている学級経営・教科経営であるという言葉がとても印象的でした。また、実際に生成AI体験を行い、Geminiでのお便りや画像の作成、さらには最新アプリ生成にも挑戦しました。実際に触れることで、校務や教材研究に活用できるイメージができ、参加者も夢中になって取り組んでいました。事後アンケートから内容の充実が伺えます。

- 授業改善のための資料検索や教材作成だけでなく、子どもたちの発想力や創造性を高めるような活用方法も学べました。
- AIは新たなツールであるとともに、私たち教師の役割やあり方を問い直すきっかけとなりました。
- ICTを活用した情報共有や共同作業のツールについて学び、教員間の連携強化にも繋がることを期待しています。(チームで実践する!)

講師の大城先生、会場校の豊見城小学校職員のみなさま、ありがとうございました。



8月の主な予定

1	金	小中自主参加講座②
7	木	室内検討会
14	木	所内検討会
18	月	教育講演会(八重瀬町中央公民館) 指導講師検討会(～8/22)
21	木	特別支援教育講演会(オンライン)
25	月	チャレンジ登校(～9/5)
26	火	室内検討会
27	水	幼児教育研修(指導ステージ)
28	木	所内検討会
29	金	教育DX研修



本検証授業・研究会



7/7(月) 豊見城市立長嶺小学校 金城 一樹

【小学校 算数 第4学年】

児童主体による個別最適な学びの実現

～ICT活用を通じた算数科の授業デザイン～

金城一樹先生の本検証授業が行われました。授業に向けて所内や指導講師との検討、ICTを活用した新たな挑戦でもあり、トライ＆エラーを繰り返して検証授業を行ってきました。本検証授業では、研究開始から約1ヶ月半の短期間での児童の急成長に驚きました。多くの関係者のみなさんや先生方が参加いただき、ありがとうございました。



沖女学生との交流『先輩教師に学ぶ』

7/28(月)は、9月に小学校へ教育実習予定の沖縄女子短期大学の学生との交流会がありました。研究所員・研究員が各グループに入り、学生たちの質問に親身になって答えていました。はじめは緊張していた学生たちも、多くの質問を重ね、よりやる気に満ちあふれた良い表情になっていました。先生方も初心に戻り、自分の指導方針を改めて振り返る機会にもなったという声がありました。企画・運営していただいた沖女の先生方、ありがとうございました。

